

例会「モーターサイクル・ダイアリーズ」

3周年記念上映会「父と暮せば」

次回例会

名称 / 第18回例会「モーターサイクル・ダイアリーズ」

日時 / 2005年5月10日(火) PM1:50~、PM4:10~、PM6:30~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



「モーターサイクル・ダイアリーズ」チラシ(部分)、

【例会作品データ】

タイトル / モーターサイクル・ダイアリーズ

監督 / ウォルター・サレス

製作総指揮 / ロバート・レッドフォード、ポール・ウェプスター、レベッカ・イェルダム

原作 / エルネスト・チェ・ゲバラ、アルベルト・グラナード

出演 / ガエル・ガルシア・ベルナル、ロドリゴ・デ・ラ・セルナ、ミア・マエストロ、メルセデス・モラーン、ジャン・ピエール・ノエル

データ / 2004年、イギリス=アメリカ合作、カラー、2時間7分、35mm、ドラマ / 青春 / 旅行記

その他 / カンヌ国際映画祭 2004年パルム・ドール、ヨーロッパ映画賞 2004年インターナショナル(非ヨ

ロッパ)作品賞

会員おススメコメント

若くしてキューバ革命の立役者になり、彗星のように人の世から消えていった男。チェ・ゲバラ・・・その呪文を聞くだけで、カッと頭の中が熱くなる人達がいる。ただしこの映画は、彼の偉業の物語ではない。23歳の医学生だったエルネスト(チェ)が親友アルベルトと中古バイクで南米大陸を縦断する友情と旅の話、ロードムービーだ。その旅で彼が見たもの、アンデスやアマゾンの自然の中に生きる人々との出会いの話。監督は傑作「セントラル・ステーション」のウォルター・サレス。見逃す手はない。(山本二郎)

前回例会の報告

3月17日の例会では、織女と牽牛の七夕の物語と同じように、地理上だけでなく複雑な日韓関係の中、日韓の高校生の淡い恋心を描いた作品でした。

また、この作品は、加古川出身の上野樹里の映画デビュー作でもありました。参加会員129人。

3周年記念上映会

加古川シネマクラブ3周年記念事業として、5月21日(土) 10:30~、13:30~、加古川市民会館中ホールで「父と暮せば」上映会を行います。いつもの例会(鑑賞会)と異なり、会員だけでなく一般の方にも、良い映画を観る機会を提供しようと企画したものです。

市民会館中ホールで映画上映会を開くことは、この会を発足したときから、いつかは実現したいと語っていたことのひとつでした。作品を選ぶにあたっては、以下のようなことを話し合いました。

- ・加古川シネマクラブらしいもの。
- ・観た人がこの会に入会したくなるような作品。
- ・最近の日本映画の名作。
- ・今回、加古川で上映する意義のあるもの。

結局、戦後60周年ということが決め手となり、「父と暮せば」が良いということになりました。

この作品をひとりでも多くの人に観てもらって、加古川の皆さんに映画に親しんでいただきたいと思います。また、多少の赤字の覚悟はできていますが、

会の運営に支障が無いようにしたいので、少しでも多くの入場料収入を確保する必要があります。入場券の販売や、興味のある人への案内など、切にご協力をお願いいたします。



「父と暮せば」より

【3周年記念上映会作品データ】

タイトル / 父と暮せば

監督 / 黒木和雄

原作 / 井上ひさし

主演 / 宮沢りえ、原田芳雄、浅野忠信

データ / 2004年、日本、カラー、1時間39分、35mm
ストーリー

戦後の広島で、原爆から独り生き残った後ろめたさから自らの幸せを拒否して生きる娘と、幽霊となり彼女の恋を懸命に後押しする父との4日間綴ったヒューマン・ドラマ。井上ひさし原作による名作舞台を映画化したもの。「TOMORROW 明日」「美しい夏キリシマ」に続く黒木和雄監督の“戦争レクイエム三部作”完結編。

昭和20年8月6日、午前8時15分、広島に原子爆弾が投下された。それは一瞬にして多くの命を奪った。3年後の広島。図書館に勤める美津江も、愛する人たちを原爆で失い、自分だけが生き残ったことに負い目を感じながらひっそりと暮していた。そんな彼女はある日、図書館で一人の青年、木下と出会う。彼女の父・竹造は幽霊となって姿を現わし、“恋の応援団長”を名乗り懸命に娘の心を開かせようとする。

定例総会議案の要点

加古川シネマクラブ2005年定例総会に開催にあたって議案説明の要所を記しておきます。

まず、2004年度の事業報告と決算報告についてですが、全体として、ぎりぎりのところで赤字体質から脱け出すことができました。たいへん喜ばしいことです。このこともあって、3周年記念上映会に踏み切ることができました。

次に、2005年度の事業計画と予算についてですが、経費の心配が少なくなると、作品選定で遠慮がなくなり経費のかかる35mmフィルム作品の上映を増やすことができます。アンケート用紙や例会選定会議で、おススメの作品を遠慮なくリクエストください。一方、3周年記念上映会の結果も気にはなっています。また、いろいろな面で、スタッフや関係者に、物品提供や労力の負担があるので、外注できるものから、少しずつ解消していくよう配慮していきたいと考えています。このようなことから、昨年度より9人増の平均200人の会員として、少し余裕をもって単年度でバランスのとれた活動計画としました。

その他、役員については、設立以来ほぼ同じメンバーですが、今年度も運営委員が1名増えました。互いに負担のないように少しずつ新陳代謝していくべきだと思いますので、役員の活動にもどうぞ関心を寄せてください。

このように、全体として会の運営面では落ち着いてきた感じがします。少し気がかりなことは、会員数が最大で219人だったのが192人に減っていることです。(宮本)

運営Q & A

Q：例会を日曜日にした方が、たくさんの方が参加でき、会員も増えると思うのですがいかがですか。

A：この会の会員層は、主婦や熟年の人が多いため、休日は家庭や地域の行事があり、どちらかという日曜日などは返って、参加しにくい傾向があります。当面、例会は、平日の昼間を中心に、働いている人も参加しやすいように夜間を設けて実施したいと思います。

もう少し夜間を遅くしたいのですが、会場の閉館時間の関係で、開始時間が午後6時30～40分となっています。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ、助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ ☎675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 192人(3月17日現在)